

# 青梅市地域共生社会を推進するためのアンケート調査 (抜粋)

## I アンケート調査の概要

### 1. 調査の目的

青梅市では、誰もが地域の中に居場所があり、権利と尊厳が守られ、孤立することなく、自分らしく安心して暮らすことができるよう、地域全体で見守り、支え合うまちづくりを目指して「第5期青梅市地域福祉計画」を策定します。

このアンケート調査は、18歳以上の市民1,000人を対象に実施し、皆様の地域福祉に対する考え方、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画策定に反映することを目的としています。」

### 2. 調査概要

- ◇調査対象者:18歳以上の市民1,000人(無作為抽出)
- ◇調査期間:令和5年5月12日(金)~5月29日(月)(6月1日到着分までを反映)
- ◇調査方法:郵送配布・郵送又は専用webページでの回収による本人記入方式

### 3. 回収結果

- ◇配布数:1,000件
- ◇有効回収数:362件(うち紙面は336件、webページ回答は26件)
- ◇有効回収率:36.2%

## 【成年後見制度について】

### ① あなたは、成年後見制度について知っていますか。

「制度名は知っているが、内容は知らない」53.6%

「制度名も内容も知らない」25.4%

「よく知っている」19.1%

「不明・無回答」1.9%

年齢別では、18～19・20歳代では「制度名も内容も知らない」、その他の年齢層においては「制度名は知っているが、内容は知らない」が最も高くなっている。

### ② 将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。

「わからない」56.9%

「利用したい」23.2%

「利用したくない」18.5%

「不明・無回答」1.4%

年齢別では、いずれの年齢層においても「わからない」が最も高くなっている。

### ②-1 ②で「利用したい」を選んだ方 → 成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいですか（※複数回答のため合計は100%を超えている。）。

「配偶者や子どもなどの親族」75.0%

「弁護士や司法書士などの専門職」22.6%

「社会福祉法人などの団体」11.9%

「市民後見人」9.5%

「わからない」4.8%

年齢別では、いずれの年齢層においても「配偶者や子どもなどの親族」が最も高くなっている。

②-2 ②で「利用したくない」「わからない」を選んだ方 → 「利用したくない」あるいは「わからない」と答えた理由は何ですか（※複数回答のため合計は100%を超えている。）。

「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい」49.8%

「制度の内容や利用方法がよくわからない」33.7%

「他人に財産管理を任せることに抵抗がある」29.7%

「制度を利用する際の手続きが複雑そうである」20.1%

「利用するための費用（経済的負担）がかかる」17.9%

「特に理由はない」11.4%

「その他」2.6%

「不明・無回答」7.7%

年齢別では、18～19・20歳代では「特に理由はない」、30歳代では「他人に財産管理を任せることに抵抗がある」、40歳代では「制度の内容や利用方法がよくわからない」「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい」、その他の年齢層においては「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい」が最も高くなっている。

③ あなたは、市民後見制度について知っていますか。

「制度名も内容も知らない」76.0%

「制度名は知っているが、内容は知らない」19.1%

「よく知っている」3.0%

「不明・無回答」1.9%

年齢別では、いずれの年齢層においても「制度名も内容も知らない」が最も高くなっている。

④ あなたは、「市民後見人」としての活動に興味がありますか。

「関心がない」66.0%

「少し関心がある」23.8%

「とりあえず研修を受けてみたい」3.6%

年齢別では、いずれの年齢層においても「関心がない」が最も高くなっている。